

2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月19日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL http://www.adjuvant.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 2018年10月26日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年3月21日～2018年9月20日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,599	1.4	162	△51.7	178	△47.7	103	△52.7
2018年3月期第2四半期	2,564	13.8	337	20.4	341	23.8	217	0.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 101百万円 (△53.3%) 2018年3月期第2四半期 216百万円 (12.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	13.00	12.92
2018年3月期第2四半期	27.55	27.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	5,927	4,625	78.0	581.44
2018年3月期	5,874	4,663	79.4	589.36

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 4,625百万円 2018年3月期 4,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年3月21日～2019年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,274	3.5	228	△54.4	238	△53.2	115	△63.0	14.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	7,962,000株	2018年3月期	7,962,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	6,403株	2018年3月期	50,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	7,928,587株	2018年3月期2Q	7,909,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料4頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明会資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2018年10月22日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（日付の表示変更）

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な所得・雇用環境を背景とした緩やかな回復基調で推移していましたが、豪雨や震災による消費や企業活動の停滞等、景気回復の鈍化が懸念される状況となっております。また、海外においては、米中の貿易摩擦の警戒感は後退したものの依然として先行き不透明な状況となっております。

美容業界におきましては、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、営業方針を「年間販促計画の策定と実行」「カウンセリングの知識・技術の習得」「アフターフォローの習慣化」「顧客分析の徹底と関係性の強化」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指しております。

売上高につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,599百万円(前年同期比1.4%増)となりました。詳細は次ページの区分別売上高の概要をご参照ください。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当第2四半期連結会計期間末で7,171軒(前期末比292軒増)となりました。

新商品に対する販売促進費及び物流コスト増加に伴う荷造運搬費の増加、人件費等の販売費及び一般管理費の増加並びに、連結子会社の売上高減少に伴う影響により利益面では、営業利益162百万円(前年同期比51.7%減)、経常利益178百万円(前年同期比47.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は103百万円(前年同期比52.7%減)となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
スキンケア	1,031	40.2	896	34.5	△135	△13.1
ヘアケア	1,151	44.9	1,476	56.8	324	28.2
その他	531	20.7	397	15.3	△134	△25.3
売上割戻金	△150	△5.8	△170	△6.6	△20	—
合計	2,564	100.0	2,599	100.0	34	1.4

(注) 1. エクシードシステム株式会社(連結子会社)、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の売上高は、「その他」に含んでおります。

2. 第1四半期連結会計期間より、従来「カラー剤」に区分しておりました「カラー剤商品」を「ヘアケア」に含めております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の売上区分の組み替えを行っております。

3. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
国内売上高	2,421	94.4	2,428	93.4	7	0.3
海外売上高	143	5.6	170	6.6	27	19.2
合計	2,564	100.0	2,599	100.0	34	1.4

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、前期リリースしたダイヤモンドジェイ(DJ)シリーズの販売が平準化したため減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は896百万円(前年同期比13.1%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、新シリーズであるクラスSの販売が堅調に推移したことと、当第2四半期連結累計期間では、既存シリーズとの自社競合の影響が想定よりも少なかったため増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,476百万円(前年同期比28.2%増)となりました。

(その他)

連結子会社のコンピューターソフトウェア関連の売上高が、計画に対して進捗が遅れているため、当第2四半期連結累計期間の売上高は397百万円(前年同期比25.3%減)となりました。

なお、MAPシステム※注3におきましては、当第2四半期連結会計期間末における契約件数が230件(前期末比8件減)となりました。

※注1「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。

※注3「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して52百万円増加し、5,927百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して67百万円減少の3,256百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少328百万円、商品及び製品の増加166百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して120百万円増加の2,670百万円となりました。主な変動要因は、研究所建設等による有形固定資産の増加54百万円、余資の運用による投資有価証券の増加45百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して81百万円増加の801百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加62百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して8百万円増加の500百万円となりました。主な変動要因は、リース債務の増加等によるその他の固定負債の増加16百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して37百万円減少の4,625百万円となりました。主な変動要因は、配当金の支払による減少189百万円、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分による増加39百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により得られた資金を配当金の支払、投資有価証券の取得、研究所の建設等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて349百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,222百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、25百万円(前年同期比215百万円減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益169百万円の計上、減価償却費38百万円の計上、売上債権の増加額13百万円、たな卸資産の増加額142百万円、仕入債務の増加額62百万円及び法人税等の支払額78百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は163百万円(前年同期比180百万円減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出76百万円、投資有価証券の取得による支出100百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は212百万円(前年同期比2百万円減)となりました。これは主に、配当金の支払額189百万円、長期借入金の返済による支出17百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回発表(2018年4月20日)の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,794,557	1,465,755
受取手形及び売掛金	566,454	580,269
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	563,063	729,159
仕掛品	52,696	33,534
原材料及び貯蔵品	37,264	36,455
その他	215,386	316,007
貸倒引当金	△4,876	△4,527
流動資産合計	3,324,546	3,256,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	869,028	870,057
土地	719,814	720,678
その他	332,121	398,374
減価償却累計額	△505,844	△519,121
有形固定資産合計	1,415,120	1,469,989
無形固定資産		
のれん	61,487	52,027
その他	22,686	31,671
無形固定資産合計	84,173	83,699
投資その他の資産		
投資有価証券	792,837	838,447
その他	268,139	288,518
貸倒引当金	△10,218	△9,765
投資その他の資産合計	1,050,758	1,117,201
固定資産合計	2,550,051	2,670,890
資産合計	5,874,598	5,927,545
負債の部		
流動負債		
買掛金	184,883	247,162
1年内返済予定の長期借入金	27,080	20,100
未払法人税等	88,022	103,627
賞与引当金	103,187	103,442
その他	316,810	327,389
流動負債合計	719,984	801,721
固定負債		
長期借入金	37,855	27,805
長期未払金	2,906	384,470
退職給付に係る負債	38,713	38,430
役員退職慰労引当金	379,640	—
資産除去債務	14,938	15,343
その他	17,515	34,107
固定負債合計	491,568	500,156
負債合計	1,211,553	1,301,878

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	757,730	757,730
資本剰余金	717,662	729,434
利益剰余金	3,232,417	3,145,576
自己株式	△45,550	△5,833
株主資本合計	4,662,260	4,626,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,510	△2,792
為替換算調整勘定	3,295	1,552
その他の包括利益累計額合計	784	△1,240
純資産合計	4,663,045	4,625,667
負債純資産合計	5,874,598	5,927,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)
売上高	2,564,484	2,599,231
売上原価	940,513	1,024,331
売上総利益	1,623,971	1,574,899
販売費及び一般管理費	1,286,656	1,411,963
営業利益	337,315	162,936
営業外収益		
受取利息	1,854	4,367
受取配当金	304	292
受取家賃	1,003	3,280
為替差益	—	2,810
雑収入	3,997	5,279
営業外収益合計	7,160	16,029
営業外費用		
支払利息	302	113
為替差損	2,451	—
雑損失	92	105
営業外費用合計	2,847	219
経常利益	341,628	178,747
特別利益		
固定資産売却益	—	1,018
特別利益合計	—	1,018
特別損失		
固定資産売却損	—	1,981
固定資産除却損	9	8,749
特別損失合計	9	10,730
税金等調整前四半期純利益	341,618	169,035
法人税、住民税及び事業税	114,061	94,123
法人税等調整額	9,669	△28,134
法人税等合計	123,731	65,989
四半期純利益	217,886	103,046
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,886	103,046

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)
四半期純利益	217,886	103,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,430	△282
為替換算調整勘定	△4,073	△1,743
その他の包括利益合計	△1,642	△2,025
四半期包括利益	216,244	101,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	216,244	101,020
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	341,618	169,035
減価償却費	38,217	38,238
のれん償却額	9,459	9,459
株式報酬費用	—	10,510
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,715	△801
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,569	254
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,959	△283
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,660	△379,640
長期未払金の増減額(△は減少)	△1,142	381,563
受取利息及び受取配当金	△2,159	△4,659
支払利息	302	113
為替差損益(△は益)	2,426	△2,902
固定資産除却損	9	8,749
有形固定資産売却損益(△は益)	—	962
売上債権の増減額(△は増加)	19,993	△13,815
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,975	△142,939
仕入債務の増減額(△は減少)	△44,371	62,278
その他	14,846	△36,823
小計	394,647	99,300
利息及び配当金の受取額	2,159	4,659
利息の支払額	△302	△113
法人税等の支払額	△155,307	△78,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,196	25,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,093	△76,847
有形固定資産の売却による収入	—	2,847
無形固定資産の取得による支出	△805	△11,029
投資有価証券の取得による支出	△300,023	△100,027
投資有価証券の売却による収入	394	54,000
定期預金の預入による支出	△125,873	△27,000
定期預金の払戻による収入	101,013	6,000
保険積立金の積立による支出	△8,723	△8,723
その他	△3,520	△2,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△344,631	△163,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	—
短期借入金の返済による支出	△400,000	—
長期借入金の返済による支出	△20,676	△17,030
リース債務の返済による支出	△5,046	△5,959
自己株式の取得による支出	—	△2
配当金の支払額	△189,469	△189,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	△215,192	△212,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,969	1,211
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△320,595	△349,826
現金及び現金同等物の期首残高	2,166,690	1,571,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,846,095	1,222,014

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員の退職慰労金の支払いに備えて、内規に基づく期末要支給額を「役員退職慰労引当金」に計上しておりましたが、2018年6月15日開催の定時株主総会終結の時をもって役員の退職慰労金制度を廃止し、在任期間に対応する退職慰労金を打ち切り支給することとしました。

これにより、第1四半期連結会計期間において「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、打ち切り支給額を「長期未払金」として計上しております。

(セグメント情報)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。